



このたびは、屋起こしNO.1スーパーコンパクト YAOCOS [ヤオコス] をお買い上げ頂き誠にありがとうございました。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をいただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

仕様

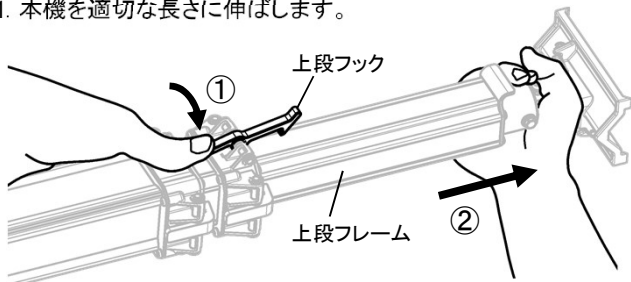
型名：NK-4000YC 最大長：4,000mm 最小長：1,650mm 質量：7.6kg 耐荷重：3.9kN (400kgf)

セット高：最大3,030mm (約10尺) セット角度※：40～60度以内 ※屋起こし作業の場合

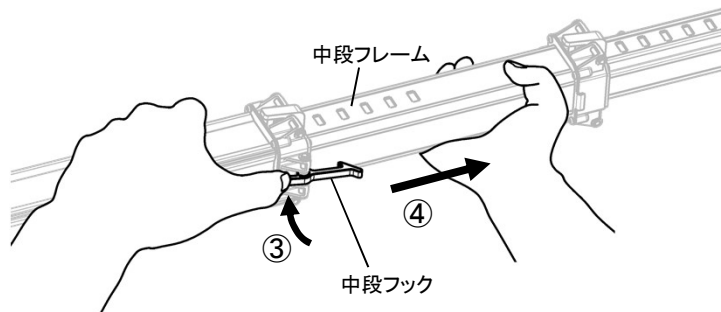
⚠ 注意：フレームについている傷は製品の製造工程で発生するものであり、不良品ではありません。

使用方法 ① (屋起こし)

1. 本機を適切な長さに伸ばします。



- ① 上段フックを押す。
- ② 上段フレームを適切な位置までゆっくりと引き出す。



- ③ 中段フックを押す。
- ④ 中段フレームを適切な位置までゆっくりと引き出す。

⚠ 警告 フレームを急激な力で引き出さないで下さい。ロック機構の不具合など、深刻な故障の原因となります。

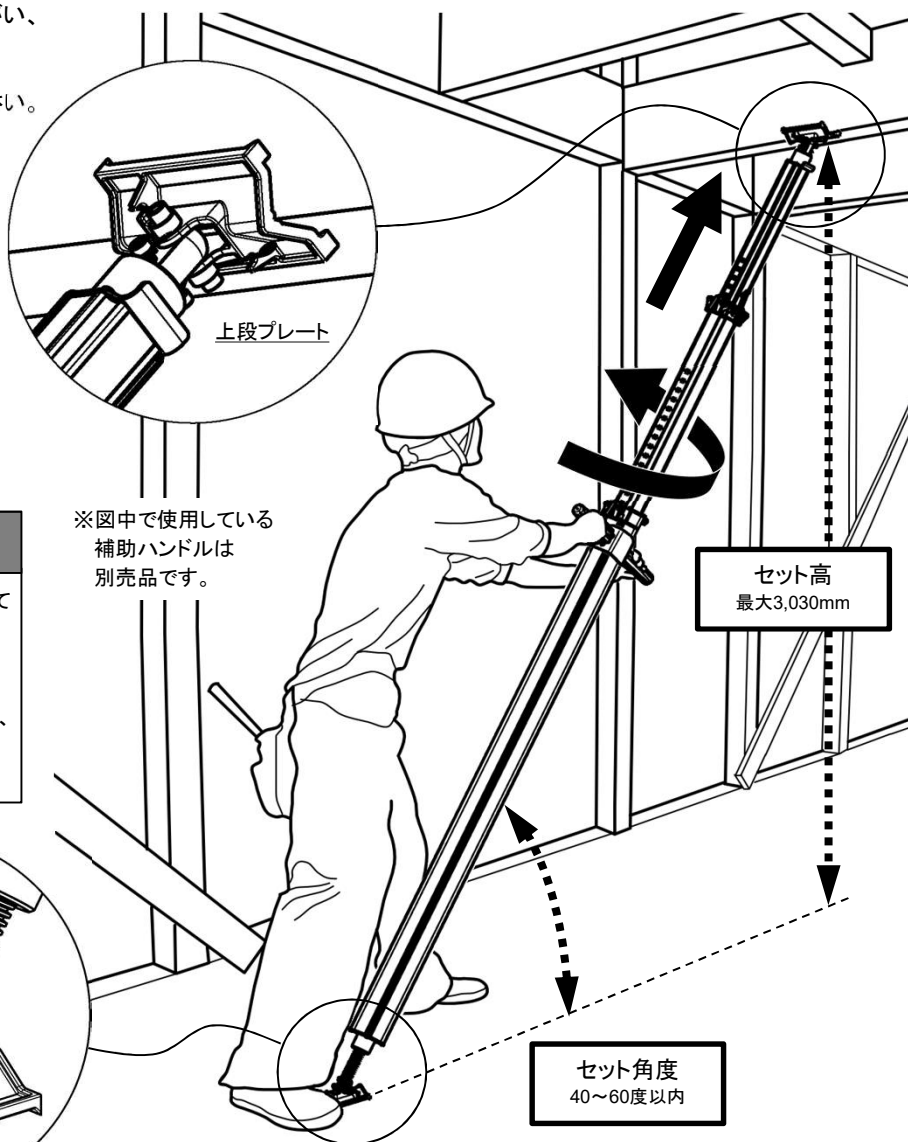
2. 上段プレートを、押し出したい上方の梁などへあてがい、下段プレートを床材に接地させます。
※セット高は最大3,030mm (約10尺) です。
※セット角度が40～60度以内になる様、調整して下さい。

3. 下段プレートを、足で踏みつけて固定して下さい。

4. フレームを反時計回りに回転させると、上段プレートが梁を押し出し始めます。

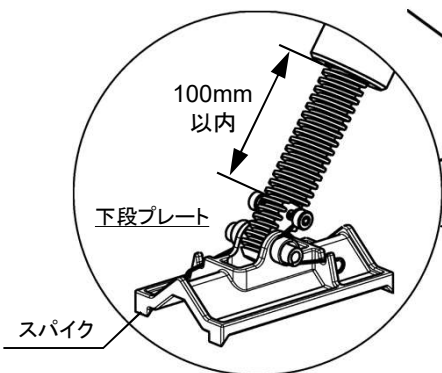
5. 対象となる柱の鉛直度を確認しながら、適切な位置にすじかいを取り付けます。

6. 矯正作業が完了したら、フレームを時計回りに回転して、本機を取りはずします。



警告

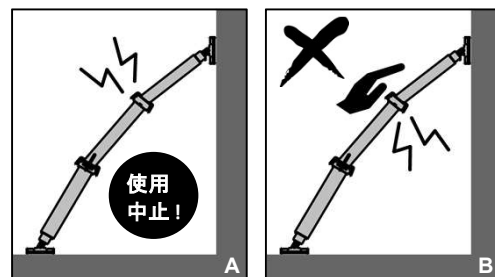
- ・両端のプレート底面には、鋭利な形状のスパイクが設けられておりますので、お取扱には十分ご注意ください。
- ・スパイクにより、部材や床面に僅かな傷が付きますので、支障の無い場所で施工してください。
- ・下段プレートのネジ部の露出長さが100mm以上にならない様、ご注意ください。シャフトが脱落し、危険な事故につながる可能性があります。



⚠ 警告 (つづき)

・使用中にフレームが曲がり始めたら、耐荷重3.9kN(400kgf)を超えている状態ですので、直ちにご使用をおやめください。この状態が続くと本機が破損し、危険な事故につながる可能性があります。(図A)

・曲がった状態のフレームを、手で押して矯正しないでください。本機が破損し、危険な事故につながる可能性があります。(図B)



使用方法② (鴨居上げ)

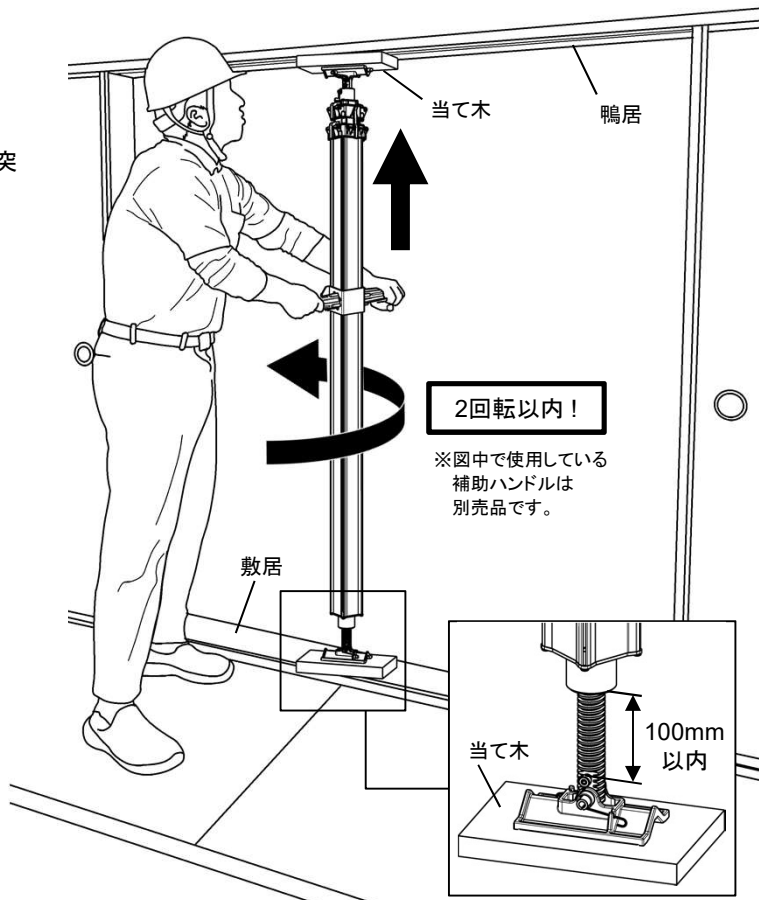
1. 本機を適切な長さに調整します。
2. 上段プレートを鴨居に、下段プレートを敷居に、各々当て木を介して突き当てながら、フレームを反時計回りに回転し、本体を軽く固定します。
3. フレームを反時計回りにゆっくりと回転し、鴨居を持ち上げます。
4. 建具(引き戸など)を取り外し、調整を行います。
5. 建具を戻し、フレームを時計回りに回転して、本機を取りはずします。

⚠ 警告

・鴨居の持ち上げ時、フレームは2回以上回転しないで下さい。鴨居や敷居、およびこれらに隣接する壁や床が損壊する恐れがあります。
※本機は1回転で約5mm伸長します。

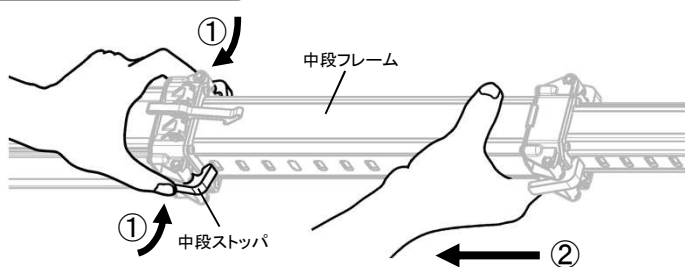
・下段プレートのネジ部の露出長さが100mm以上にならない様、ご注意ください。シャフトが脱落し、危険な事故につながる可能性があります。

・本機はジャッキではありません。柱抜き作業等に用いると、耐荷重3.9kN(400kgf)を超えて破損し、危険な事故につながる可能性があります。

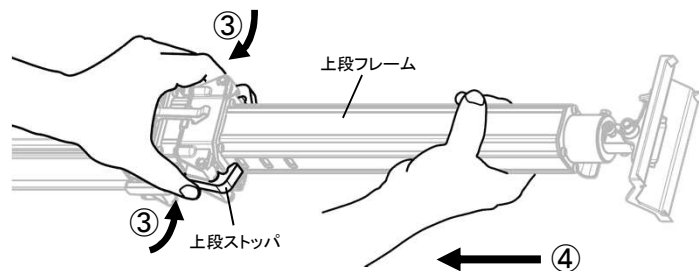


収納方法

本機を水平にした状態で、下記手順に従い操作して下さい。



- ① 中段ストッパ × 2 を同時に押す。
- ② 中段フレームを収納する。



- ③ 上段ストッパ × 2 を同時に押す。
- ④ 上段フレームを収納する。

⚠ 警告

本機を立てた状態で収納操作を行わないで下さい。フレームが急速に落下して、事故につながる可能性があります。

別売部品

・補助ハンドル NK-YCHD
フレームの回転操作を容易にする補助ハンドルです。

・スパイクプレート NK-SP
土間コン工法に特化した強カスパイク付プレートです。

